

岐阜県医師会「新型コロナウイルスワクチン研修会」質問②

【質問内容】

(1) 高齢者・一般の個別接種について、かかりつけの患者さんであっても、インフルエンザワクチン等のワクチンを1度も接種したことのない方やアレルギー疾患があり、アナフィラキシーを強く心配されている方には、集団接種や病院での接種を勧めても良いのでしょうか？

(2) 接種を行う医療機関で準備するものとして、予診時の「使い捨て舌圧子」と書いてありますが、接種者全てに使用するのではなく、急性疾患を疑う場合のみ使用するということでしょうか？全ての接種者に聴診等も行わなくて良いのでしょうか？

【回答：磯貝光治 常務理事（岐阜県医師会）】

(1) 質問①

高齢者・一般の接種に関しては、市町村によって、「集団接種のみを実施する」、「個別接種のみを実施する」、「両方を実施する」という対応で異なります。また、集団接種と個別接種の割合想定もバラバラです。

被接種者が、かかりつけ医での接種を希望しても、集団接種をお願いすることがあったり、また、その逆に個別接種医療機関が、かかりつけ以外の方の接種を依頼されるケースもあります。

ご質問のケースに関しては、地域の実情に応じた対応をお願いします。市町村ごとに対応が異なるものと考えますので、地域医師会や行政と相談していただくこととなります。

なお、特にアナフィラキシーの発生リスクが高いと判断されるケースでは、小児等の予防接種の場合と同様に、予防接種センターなどでの接種も検討しているとのことでした。

(2) 質問②

2月24日に厚生労働省から「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き(2.0版)」が、発行されています。手引き43ページに、予診について、「接種実施医療機関等において、接種を行う前に予診票の確認、問診、検温及び診察を行い、予防接種を受けることが適当でない者又は予防接種の判断を行うに際して注意を要する者に該当するか否かを調べる。」となっています。診察の内容についての記載はありませんので、その点は、問診医が判断していただいて結構です。